

現地時間 27 日、大型ハリケーン・ハービーが米南部テキサス州に大雨をもたらし、熱帯低気圧となった現在も停滞し大規模な洪水被害が出ています。現地は冠水した道路や空港が閉鎖される事態となっておりますので、今号では被害の現状および物流への影響をお伝えいたします。

1. 現地の被害状況

歴史的豪雨となると予想されるハリケーン・ハービーは米南部テキサス州に 25 日夜に上陸しました。熱帯低気圧に変わった現在もお停滞し強い雨と風をもたらし、猛威をふるっています。上陸時の最大風速は時速 250km で、ハリケーンの強さを風速をもとに分類する 5 段階の区分で 2 番目の強さとなる「カテゴリー4」でしたが、現在は勢力を弱めています。



現地時間 8 月 27 日、テキサス州南東部に位置するヒューストンの州間高速道路 45 号の冠水の様子 (写真:ロイター/アフロ)

今後は 30 日にかけてヒューストン市内にゆっくり接近し、豪雨が続く見通しです。27 日時点では約 316,000 世帯以上が停

電しており、少なくとも 5 人の死亡が確認されたと報じられています。テキサス州知事によると、既に 3,000 人以上の兵士が住民の避難や救助活動のために動員されたということです。また、ホワイトハウスの報道官は、トランプ大統領が 29 日にテキサス州を訪問し、被害状況を視察すると明らかにしました。

2. 物流への影響

ハービーによる影響で、テキサス州にある 250 もの高速道路が閉鎖、空港では多数のフライトがキャンセルされ、一部空港は閉鎖されるなどの影響が出ている他、メキシコ湾岸の製油所や石油施設も生産を停止していると報道されています。

米国の弊社クレーム代理店 Tokio Marine Claims Service Inc(Los Angeles)によれば、現地はまだ日曜深夜のため貨物の被害報告は入っていないものの、週明けになれば影響が明らかになると見込まれます。

今後も数日間豪雨が続く見通しであり、米国内陸輸送等の物流への影響が懸念され、注意が必要です。

